

松阪警察署協議会議事録

令和6年度第3回松阪警察署協議会	
日場	時所
令和6年12月10日（火）午後1時から午後5時まで 視察先：三重県警察航空隊 協議会会場：松阪警察署4階会議室	
出席者	1 警察署協議会 11名 下村真也会長、北村浩文副会長、大橋範秀委員 齋藤あゆみ委員、鈴木寛子委員、谷口宗治委員 橋本弘司委員、堀楓花委員、松田孝美委員、 村林由美子委員、山本哲也委員 2 警察署 13名 署長、副署長、事件指導官、会計課長、警務課長 留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長 刑事第二課長、交通第一課長、交通第二課長、警備課長
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
1 視察 三重県警察航空隊の視察 2 警察署長挨拶 3 管内治安情勢の説明（警察署長） (1) 拾得・遺失届の受理状況 (2) 警察安全相談の受理状況 (3) 人身安全関連事案の発生状況 (4) 少年非行の状況 (5) 110番通報の受理状況 (6) 山岳遭難の発生状況 (7) 刑法犯の認知・検挙状況 (8) 特殊詐欺の発生状況 (9) SNS型投資・ロマンス詐欺の発生状況 (10) 交通事故の発生状況 (11) 災害の発生状況 4 令和7年三重県警察運営の重点の説明（警察署長） 5 交通指導取締りの推進状況の説明（交通第二課長） 6 警察行政手続に関する窓口受付時間の変更の説明（警務官） 7 協議内容 (1) 横断歩道における歩行者の優先について <委員> 横断歩道を横断しようとする歩行者がいる場合、車は横断歩道の手前で停止しなければならないが、歩行者がどのような状態の時をもって停止しなければならないのか伺いたい。 【交通第二課長】 具体的には、歩行者が横断歩道を渡っている、もしくは渡ろうと立ち止まっている状態であれば、停止しなければならない。また、横断歩道に近付いている歩行者がいる場合には、徐行し、すぐに止まれる速度で進行しなければな	

らない。

警察では、歩行者が自己の存在を示す「横断歩道”ハンドサイン”キャンペーン」や道路交通法第38条の周知を図る「ACTION38キャンペーン」等の施策を実施し、歩行者の安全確保に努めているところである。

(2) 犯罪被害者等支援について

<委員> 犯罪被害者等と接する警察は、被害者支援がとても重要な任務であると思うが、具体的にどのような支援を行っているのか伺いたい。

【署長】 支援の一つとして被害者連絡制度があり、身体犯に係る犯罪や重大な交通事故の被害者等を対象に、捜査の進捗状況、刑事手続、犯罪被害者支援制度等について説明しているほか、定期的に訪問活動を行い、防犯指導や要望の聴取等を行っている。また、捜査活動では、被害者等の立場に立ち、礼を失することのないよう丁寧な対応に心掛けている。

(3) 令和7年三重県警察運営の重点について

<委員> 令和7年三重県警察運営の重点について、「地域住民の安心感を高める街頭警察活動の推進」が追加されたと説明を受けたが、パトカーや警察官の姿を見せる活動はとても効果があると思うので、街頭警察活動の更なる強化をお願いする。

<委員> 令和7年三重県警察運営の重点に「子ども・女性等を守る取組と犯罪対策の推進」があるが、広報活動の場所や時間を検討し、より効果的な広報に努めてもらいたい。

【署長】 生活安全協会や市町と連携し、より顕示性の高い広報の方法を随時検討し、効果的な広報活動を実施する。

(4) 松阪警察署管内の人身安全関連事案の発生状況について

<委員> 三重県警察全体では、人身安全関連事案は減少しているが、松阪警察署ではストーカー、児童虐待、行方不明事案が大きく増加している。その理由について伺いたい。

【署長】 人身安全関連事案は、事案の特殊性から増減理由を特定することは困難である。事案を認知した場合には、切迫性、危険性を判断し、「やれることはスピード感を持って全てやる。」ということを念頭に置き、被害者や被害関係者の安全を最優先に対処している。

(5) 匿名・流動型犯罪グループによる犯罪について

<委員> 匿名・流動型犯罪グループによる事件をよく耳にするようになったが、犯罪の具体的な手口を伺いたい。また、闇バイトは県内で例があるのか伺いたい。

【署長】 当署では、20代5人の犯罪グループを検挙している。主な犯行手口は、夜間、家人が就寝している時に侵入して金品を盗む忍込みや、夜間店舗に侵入して金品を盗む出店荒らし等であり、非常に悪質で大胆な犯行である。

闇バイトについては、三重県民がこれに応募して犯行に及び、他府県警に逮捕された事例がある。また、犯行場所に三重県内の住宅が対象となっているという情報が入ったため、警戒を実施したこともある。三重県内でも被害は発生しうると考えられる。

(6) 警察署長謝辞

備考	報道機関 2社 2名
----	------------